

学校新聞

つなぐ

神奈川県立相模原養護学校

〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻814

Tel 042-778-0331 FAX 042-778-4957

web <http://www.sagamihara-sh.pen-kanagawa.ed.jp>

『学び舎を愛でる』

教 頭 山崎 明久

から梅雨を思わせる晴天が続く6月でしたが、新聞が発行される頃には「恵みの雨」が大地を潤してくれているのでしょうか。小学部の児童が学ぶC棟を囲むように植栽されている「紫陽花」が今を盛りと咲き誇っています。日々の校内巡視を日課としており、季節の移ろいを肌で感じるとき、不快で気持ちが沈みがちな梅雨の時期であっても雨に滴る「紫陽花」の美しさに触れると、雨もいいものだなあと感じます。

さて、日々の校内巡視は校地内外の施設管理という側面からの業務ですが、重要なことは普段と異なることを察知すること、危険箇所を認知することです。校内巡視をとおして気づいた危険箇所はその都度に技能員さんをお願いをして改善を図ってまいりました。しかし、予算の関係や大掛かりな工事となるために時期が限定されるなどの理由で改善に時間がかかることもあります。具体的には、体育館の舞台上に収納している張り出し舞台です。この張り出し舞台は、老朽化による使用上の不安と収納の仕方に不安を抱えていました。今年度より、学習発表会の舞台発表は張り出し舞台を使用せずに実施するという方向性が確認され、新年度の予算にも撤去のための経費が計上されました。撤去作業の日程も決まり、予定通りに進めば、1学期の終業式は舞台の緞帳をあけて清々と式を行うこととなりますので、お知らせします。相模原養護学校に通う児童・生徒にとって安全で、送り出す保護者の皆さんにとって安心な学校づくりにこれからも努めてまいります。

『すてきな社会人になるために』

高等部学部長 小山かおり

新年度がスタートして3ヶ月が過ぎました。5月に宿泊学習、修学旅行と大きな行事を終えた2年生、3年生は、6月には産業現場実習・校内実習を行いました。校内実習では相模エニシングという2・3年生縦割りの会社やあゆみ工房、さわやか工房等学年ごとの事業所が設立され、外部からいただいたチラシ折りや接着剤の包装等の仕事に取り組みました。ユニフォームを着たりエプロンをつけたりすることで外部実習と同じような緊張感を持ち、仕事時間はおしゃべりもなく、作業内容によっては立ち仕事をしっかり続けることができました。外部実習に出た人たちも良い刺激を受けつつ学校で身につけた力を発揮できたようです。1年生も学校生活に慣れはじめ、6月下旬には学年全体で総合教育センターのアセスメントを受け、やや緊張した面持ちではありましたがそれぞれが真剣に課題に取り組むことができました。校内実習の見学でも先輩の様子から来年、再来年のイメージを持つことができました。

今年も高等部全体が「なりたい自分」「自分らしい生き方」に向かって動き始めました。日々の学習の積み重ね、周囲の人とのより良い関わり、余暇の充実、そして達成感と自己肯定感を持つことを大切にしながら教育活動を進めて行きたいと思えます。